

2007-09年餌付けアンケート結果

小西 敢

最近、鳥インフルエンザが大きな社会問題となるとともに、各地でハクチョウ類やカモ類に対する餌付け自粛または禁止という措置が見られうようになっている。

そこで、日本白鳥の会では、主要なハクチョウ類渡来地で餌付けに関するアンケートを実施した。アンケートでは2007/08、2008/09年の1シーズンについての回答をお願いした。ここに2009年3月10日現在でのとりまとめ結果を報告する。

アンケート調査票(文末参照)を会員に配布し、以下の会員(北からの順)から回答を得た。

小西敢(北海道浜頓別町)、斉藤正宏(青森県)、手倉森齊(青森県五戸町)、高橋次雄(岩手県盛岡市)、小澤和広(福島県猪苗代町)、八木博(福島県福島市)、澤田隆(石川県羽咋市)、神谷要(鳥取県米子市)。

表1. 2008-1009年餌付けアンケート結果

絵付け状況: 1. 有、2. 無

餌付け量増減: 1. 変化無し、2. 減少、3. 餌付けなし、4. 増加

都道府県	市町村	調査地	餌付け状況			越冬数		
			07-08年	08-09年	増減	07-08年	08-09年	増減
北海道	浜頓別町	クツチャロ湖	1	1	2	420	414	-1.43
	旭川市	永山新川	1	2	2			
青森県	平内町	浅所海岸	1	2	3	180	155	-13.89
		松島海岸	1	2	3	500	350	-30.00
		大湊湾			3	313	206	-34.19
		尾駸沼			3	390	144	-63.08
		小川原湖			3	587	1033	75.98
		野内川			3	167	44	-73.65
		赤川			3	137	170	24.09
		坪川			3	416	44	-89.42
		奥入瀬川			3	107	18	-83.18
		十和田湖			3	303	27	-91.09
		間木堤			3	453	43	-90.51
		根岸堤			3	92	25	-72.83
		新井田川			3	127	79	-37.80
		馬淵川			3	111	89	-19.82
		熊原川			3	87	72	-17.24
	平川			3	259	117	-54.83	
	五戸町	五戸川	1	1	1	174	162	-6.90

岩手県	盛岡市	高松の池	1	1	2	428	286	-33.18
		北上川珊瑚橋	1	2	3	120	60	-50.00
		雪谷川	1	1	2	55	24	-56.36
		大堤・新堤	1	2	3			
宮城県		伊豆沼	1	1	2			
		白石川	1	1	2	529	286	-45.94
福島県	猪苗代町	猪苗代湖北岸	1	2	2	1173	1078	-8.10
	福島市	阿武隈川親水公園	1	2	3	800	150	-81.25
		沢井白鳥池			3	100	68	-32.00
		蕪内阿武隈川			3	251	345	37.45
		高野池	1	1	2	591	374	-36.72
		多田野			3	161	104	-35.40
		北小泉						
		阿武隈川	1	2	3	198	72	-63.64
		本宮市						
		阿武隈川	1	2	3	233	49	-78.97
		水原川	1	2	3	552	147	-73.37
		木戸川				24	61	154.17
新潟県		瓢湖	1	1	1	6451	6704	3.92
石川県	羽咋市	邑知潟	2	2		300	600	100.00
長野県	豊科市	犀川ダム湖						
滋賀県		琵琶湖	2	2	1	511	489	-4.31
鳥取県	米子市	米子水鳥公園	1	1	1			
沖縄県		宮古島	2	2	1	0	1	-
		与那国	2	2	1	0	1	-

回答のうち、特記事項は次のとおりである。

クッチャロ湖：餌量を半分近く少なくした。秋の飛来数が昨シーズンの半分と少なかった割りに越冬数はほぼ例年並に多かった。

永山新川：全域の飛来数は増加したが、餌付け中心地の2カ所では減少した。大部分は石狩川との合流点をねぐらとし、日中は水田で採餌。

浅所海岸：餌付けは前面禁止。

松島海岸：水田に餌をとりに行くようになった。

尾駈沼：減少後、2月に増加。

五戸川：11-12月までは餌付けは行わず。周辺の降雪・凍結がはじまり3~5日に一度程度餌を与える。

高松の池：2月1日までは、例年と同様に餌付けを実施した。2月1日から餌付けを中止した。一般の来訪者も10分の1に減少した。

北上川・珊瑚橋：ネグラとして利用。

雪谷川：2004年から餌付け量を減らしている。

伊豆沼：暖冬の影響。

白石川：各地で禁止となり、水田で餌をとる。工事の影響も有るとおもわれる。

猪苗代湖北岸：昨シーズンの場所では、餌付け中止した。一部の個体は水田に行っている。

阿武隈川親水公園：川上・川下へグループで移動した。

瓢湖：カモ類の餌対策を行う。

邑知潟：当初より餌付けは行っていない。以北の降雪状況と地域の水田の乾燥状態により、飛来数が左右されていると思われる。

琵琶湖：一部地域で行っていた餌付けを今年を行わなくなった。

米子水鳥公園：1日1回、早朝のみ与える。一般給餌禁止。1日100kg程度。餌の内容は昨年と同じ。

以上のように、回答は11道県42か所から得られた。

	餌付け有	餌付けなし	未回答
2007-08年	19	4	27
2008-09年	9	14	27

餌量は、「禁止」25か所、「減少」8か所、「変化無し」6か所、「増加」0か所、「未回答」3か所であった。

越冬数の変化は、「-100～81」5か所、「-80～61」6か所、「-60～41」4か所、「-40～21」9か所、「-20～0」7か所、「1～20」1か所、「20～40」0か所、「41～60」0か所、「61～80」1か所、「81～100」1か所、「101～」1か所、「未回答」7か所であった。

まとめ

2007-08年よりも2008-09年の方で餌付け自粛や餌量が減少した地域が増えた。越冬地がおもにねぐらとなり、日中には水田に餌をとりに行く姿が見られた。暖冬・降雪量減少の影響で、飛来数の変化に見られた。

<アンケート調査票は次ページ>

2008-2009シーズンの白鳥の飛来変化について（アンケート調査）

日本白鳥の会事務局

2008年4月に国内で発生した、オオハクチョウの鳥インフルエンザに関係し、今シーズンは、青森県・秋田県・岩手県などの地域で、白鳥への餌付け自粛が行われています。このことに関連してか、各地で飛来数の増減の変化が見られるようです。白鳥の会として、今シーズンの状況を確認していきたいと思い簡単なアンケート調査を実施する事といたしました。お手数ではございますが、各地の状況をお知らせ下さい。以下アンケートにご記入の上、2月末頃までに

FAX 01634-2-2534 又は、郵送でお送り下さい。

メールの場合は、事務局 hamaton@eolas-net.ne.jp へお送り下

日本白鳥の会 事務局 担当:小西 TEL/FAX

きりとり

1. 調査地

記入者お名前 _____

例) ○○県○○市○○町 ○○○池

2. 前年の同時期との比較（増加・減少と考えられる理由もご記入下さい）

例) 2007年11月500羽→2008年11月300羽（200羽減）

3. 餌付けの状況

例) 今年は全面禁止／2回を1回に減らす／昨年と同じ等

4. その他 特記事項

例) 越冬地がネグラとなりエサを水田に採りに行くようになった。